

松川町の天竜川河原に生育するアスター属の植物相（2）

堤 久*

Flora of Genus Aster at Tenryukawa-kawara of
Matukawa-mati,Nagono Prefectuer（2）

Hisashi Tutumi

1 はじめに

松川町古町の天竜川の河原（標高 450m）にはキク科のアスター属の草本が群生している。

この群落の植物相について、筆者は「松川町の天竜川河原に生育するアスター属の植物相（1）」と題して、本誌の 53 号（2020）に報告した。

その後、調査を継続して行ない新たに加わる種を見出すことができたので、ここに続報として報告したい。

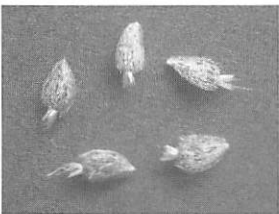
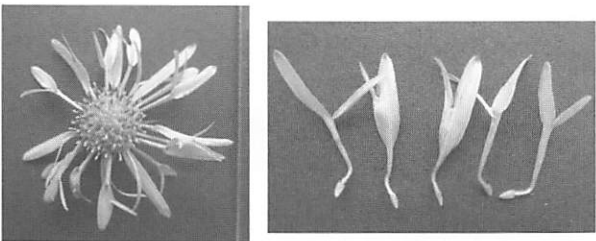
2 調査の内容と方法

- ・調査期間 令和2年 10 月～ 11 月
 - ・調査内容 群生するアスター属の種を明らかにする
 - ・調査の観点
 - 頭花の舌状花の花弁の形状と構成
 - 舌状花の子房（種子）の冠毛の形状
- この二つはヤマジノギク類とカワラノギク類を判別する観点である。

上記の二つの観点から種を決定

3 調査結果と考察

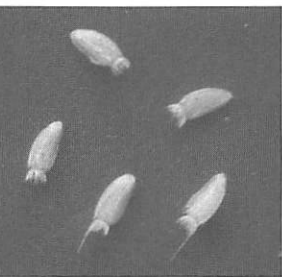
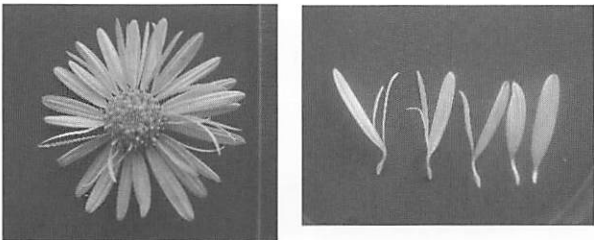
（観察事例 1）令和 2 年 10 月 27 日 採集



- ・頭花の舌状花はやや不完全なクダシデ形の単一花卉。
- ・子房（種子）は短冠毛。

考察 これは、ヤマジノギクがクダシデヤマジノギクに転換する中途の不完全変異と推察される。

（観察事例 2）令和 2 0 年 1 0 月 3 0 日 採集
観察結果

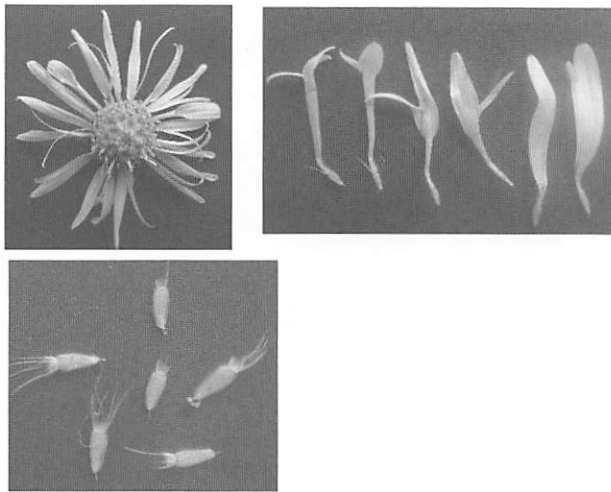


- ・頭花の舌状花はヒラ形とシデ形の複合花卉
- ・子房（種子）は短冠毛

考察 舌状花はヒラ形とシデ形の複合花卉であること、冠毛は短冠毛であることから、これは、ヤマジノギクがシデザキヤマジノギクに転換する中途の不完全変異と推定される。

* 堤 久 〒 399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島 1008-15

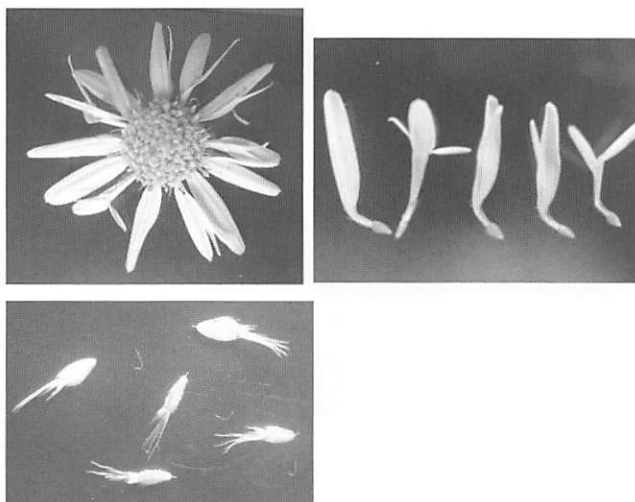
(観察事例3) 令和20年10月30日 採集
観察結果



- ・頭花の舌状花はヒラ形、シデ形、クダ型の複合花弁
- ・子房(種子)は長短冠毛

考察 3種の複合花弁で、長短冠毛であるので、ヤマジノギク、クダザキヤマジノギク、シデザキヤマジノギクが複数回にわたって交配した雑種である。

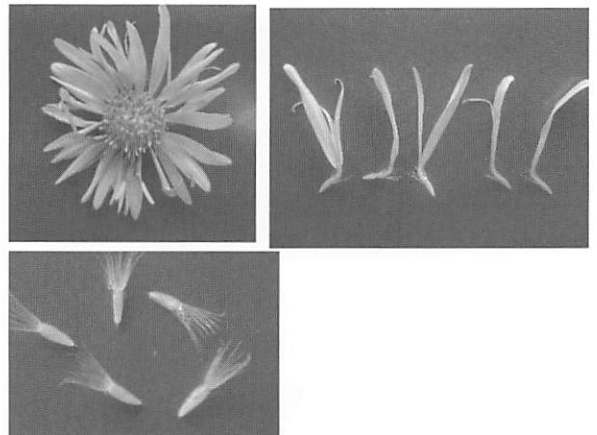
(観察事例4) 令和20年10月30日 採集
観察結果



- ・頭花の舌状花は、ヒラ形、クダシデ形の複合花弁
- ・子房(種子)は長短冠毛

考察 これはヤマジノギクとクダシデザキヤマジノギクの雑種と推察される。

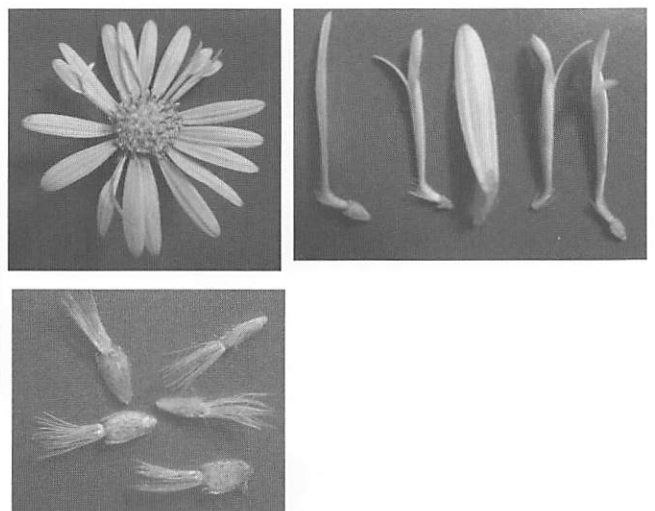
(観察事例5) 令和20年10月30日 採集
観察結果



- ・頭花の舌状花はヒラ形、クダ形、シデ形の複合花弁。
- ・子房(種子)は長冠毛。

考察 カワラノギク、クダザキヤマジノギク、シデザキヤマジノギクの複数回の交配によって生じた雑種。

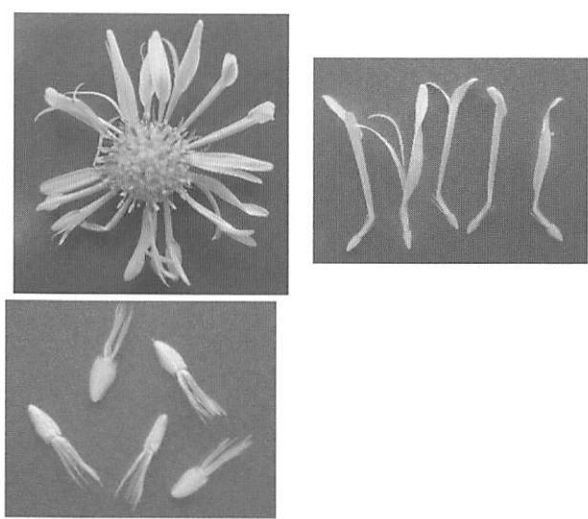
(観察事例6) 令和20年11月13日 採集
観察結果



- ・頭花の舌状花はヒラ形とクダ形の複合花弁
- ・子房(種子)は長冠毛

考察 これはカワラノギクとクダザキヤマジノギクの雑種と推察される。

（観察事例7）令和20年11月13日 採集
観察結果



- ・頭花の舌状花は、クダ形、シデ形の複合花弁
- ・子房（種子）は、長冠毛

考察 クダザキヤマジノギクとシデザキヤマジノギクの雑種と推察される。

4、まとめ

以上の種と前号に報告した種をまとめると、下記の表になる。ヤマジノギク、カワラノギク以外の種名は仮名である。

主なる引用・参考文献

小泉秀雄（1930）クダザキヤマジノギクの自生地（長野県史跡名勝天然記念物調査報告書 第三巻）836～840 p
今井建樹（1996）長野県伊那地方で報告されているヤマジノギク（アレノノギク）について（長野県植物研究会誌 1996 17 p～20 p）
清水建美 監修 長野県植物誌 1997 ツツザキヤマジノギク 1086p
堤 久 松川町の天竜川河原に生育するアスター属の植物相（1）2020 長野県植物研究会誌 53号 68～74 p

種名	頭花の舌状花	子房冠毛	観察数
ヤマジノギク（変種）	ひら状 単一花弁	短冠毛	14
カワラノギク（種）	ひら状 単一花弁	長冠毛	10
クダザキ（変種） ヤマジノギク	クダ状 単一花弁	長冠毛	5
シデザキ（変種） ヤマジノギク	シデ状 単一花弁	長冠毛	20
シデザキ（不完全変種） ヤマジノギク	ひら状、シデ状 複合花弁	短冠毛	2
クダシデザキ（変種） ヤマジノギク	クダシデ状 単一花弁	長冠毛	10
クダシデザキ（不完全変種） ヤマジノギク	クダシデ状 単一花弁	短冠毛	1
ヤマジノギク×（雑種） クダザキヤマジノギク	ひら状、クダ状 複合花弁	長短冠毛	3
ヤマジノギク×（雑種） シデザキヤマジノギク	ひら状、シデ状 複合花弁	長短冠毛	6
ヤマジノギク×（雑種） クダシデザキヤマジノギク	ひら状、 クダシデ状長短 複合花弁	短冠毛	3
ヤマジノギク×（雑種） クダザキヤマジノギク× シデザキヤマジノギク	ひら状、クダ状 シデ状 複合花弁	長短冠毛	3
カワラノギク×（雑種） ヤマジノギク	ひら状 単一花弁	長短冠毛	14
カワラノギク×（雑種） クダザキヤマジノギク	ひら状、クダ状 複合花弁	長冠毛	3
カワラノギク×（雑種） シデザキヤマジノギク	ひら状、シデ状	長冠毛	2
カワラノギク×（雑種） クダザキヤマジノギク× シデザキヤマジノギク	ひら状 クダ状、 シデ状の複合花弁	長冠毛	2
クダザキヤマジノギク× シデザキヤマジノギク （雑種）	クダ状、シデ状 複合花弁	長冠毛	5

以上の種の標本は長野県環境保全研究所に提出